

令和6年度 3歳児 「運動会リズム表現」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字、毎年取り上げる題材によって変わる部分は網かけにて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

子ども達は、4月下旬から思い切り走ったり、遊具に登ったり、滑り台を滑ったり、ストライダーをこいだり、ジャンピングで跳んだり、ゲームボックスから跳び下りたりして、様々に身体を動かすことを楽しんできている。また、生き物になって走ったり跳んだり這ったり、~~消防隊、レスキュー隊電車の運転手~~や店員さんになってお客さんと会話したり料理を振舞ったりするなどのごっこ遊びも楽しんでいる。また、絵本の繰り返しの展開を楽しんだり、教師やクラスの友達と一緒に、曲のリズムに合わせて思い切り身体を動かすことを楽しんだりしている。

幼稚園生活に慣れるにつれ、ダンゴムシやチョウを捕まえたい、追いかけてっこがしたい、砂場で大きな穴や山を作りたい、遊具に乗りたいなど自分の好きなことを見つけたり、したいと思ってしようとしていたりしている。そして、よく遊ぶ友達、好きな友達と砂場で横に並んで同じ遊びをしたり、近くにいる友達と捕まえた虫を見せ合ったり、~~一緒に乗り物に乗ってパトロールをしたり一緒に手作り電車に乗ったり~~、滑り台を滑ったりなど、友達と一緒に遊ぶ楽しさや、友達と一緒にいる心地よさを味わい始めている。

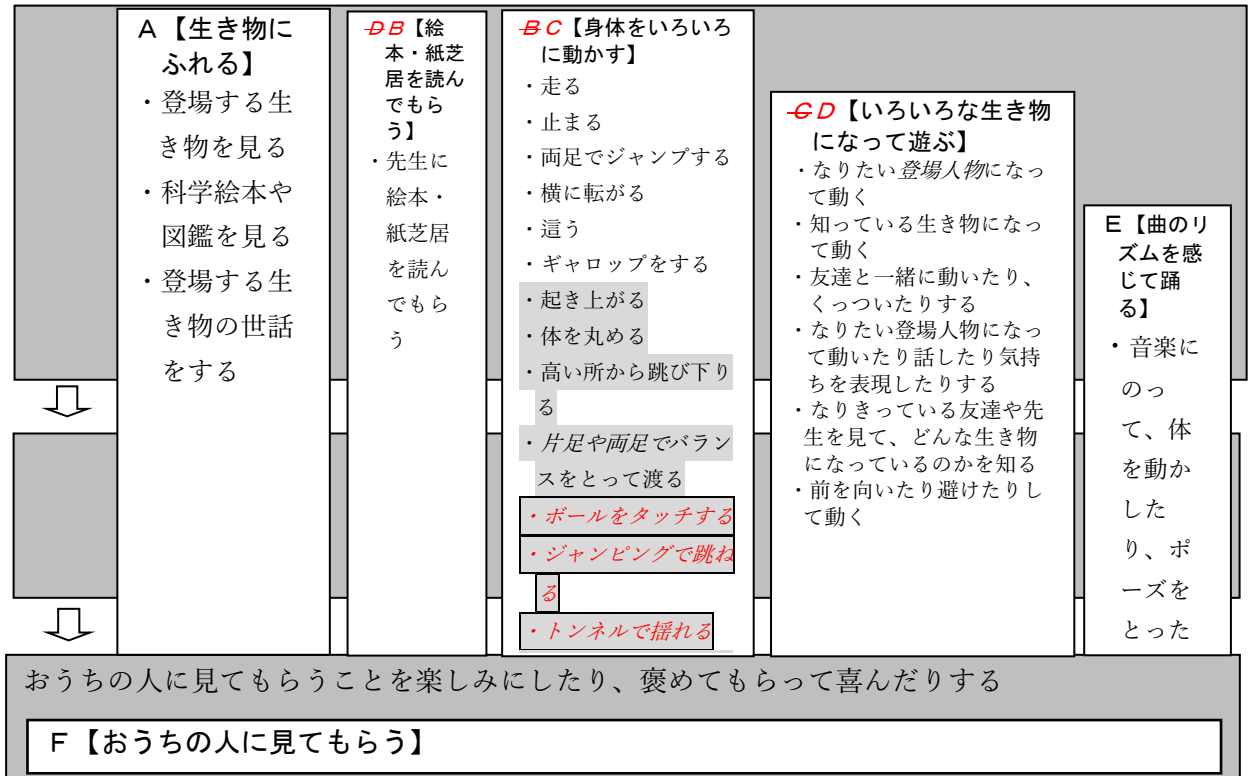
また、運動会がどういうものであるのか、初めての子ども達にとっては思い描くことは難しいが、集団生活に入ってから半年に満たない子ども達にとって、保護者にそばにいてほしい、見てもらいたい気持ちはとても強く、親子ふれあいの日や参観日などおうちの人と一緒に遊んでくれる、見てくれることをとても嬉しく感じているため、おうちの人に見てもらえる楽しみや、見てもらって嬉しいという気持ちを味わえると考えます。

そこで、運動会に向けて、学年全員でリズム表現遊びに取り組む過程で、身近な生き物や好きな生き物などになって、大きくなった嬉しさを感じて様々なことをやってみようと思ったり、難しいけれど頑張った、頑張ったできるようになった、強くなったことを感じたり、同じことをしている友達がいることに嬉しいと思ったり、やってみようと思ったり様々な遊具に興味をもって身体をいろいろに動かす楽しさを味わったりしてほしい。また、長い期間にわたり、学年全員で一つのごっこ遊びをする中で、よく遊ぶ友達や好きな友達だけでなく、クラスを越えた友達と同じ遊びをしたり、一緒に身体を動かしたりして、一緒にいる心地よさや、一緒に遊ぶ嬉しさを味わってほしい。そして、好きな登場人物になれたり、したい遊びができたり、おうちの人に見てもらったりして嬉しい気持ちを感じてほしいと考える。

3. ねらい

- ① なりたい登場人物を思っになったり、**大きく**強くなりたいと思って 自ら決める・選ぶ
登場人物になったりする。
ゲームボックスから遠くまで跳び下りたい、もっと高く跳びたい、
バランスストーンを片足や両足で落ちずに渡りたい、**ボールをカゴ
に入りたい、ボールをタッチしたい、ジャンピングで跳びはねたい、
トンネルで揺れたい、**こんなポーズをとりたいなどのいろいろな動
きをしたいと思ってしようとする。
- ② なりたい生き物になって遊んだり、したいと思うことができたり、 自分に満足する
先生やおうちの人に見てもらったりすることを嬉しいと思ったり、
自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする。
- ③ **なりたい生き物になって遊んだり、したいことをして遊んだり、友 自分のことを知る
達や先生と一緒に遊んだり、教えてもらったり、尋ねられたり、褒
めてもらったり**して何が楽しいか、何が好きか、何が得意か、どん
なことができるようになったか、**自分の表現のよさや頑張り**などを
感じたり気付いたりする。
- ④ 先生や**いろいろな友達**と身を寄せたり、同じ生き物になって動いたり 他者という喜びを感じ
る
一緒に同じ動きをしたりして一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
~~今まであまり関わりのなかった友達や先生と遊ぶ楽しさを感じる。~~
- ⑤ 人がたくさんいる場所で走ったり、高いところから跳び降りたりす 身を守る
るとぶつかってしまうことを教えてもらって、周りを見たり、間隔
を開けたり、順番を待ったりして危なくないようにしようとする。
~~芝生を走るときに前を見て、友達や物をよけたりするとぶつからな
いことを感じたり、高い場所から飛び降りるときに倒れないように、
手を着いて着地したり飛び降りる先に誰もいないか見て跳んだりし
ようとする。~~
- ⑥ 走ったり、止まったり、両足でジャンプしたり、横に転がったり、 身体を操作する
這ったり、ギャロップしたり、片足で立ったり、体を丸めたり、高
い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高ばいをしたり、
狙ってボールを投げたりなど、いろいろな体を動かす楽しさや
心地よさを味わう。
- ⑦ 登場する生き物を実際に見たり、触ったり、図鑑で見たり、**その生 生き物・命を見つめ
き物が登場する絵本を読んでもらったり**して、動きや姿、**成長生態**
を面白いと思う。
- ⑧ リズムを感じながら体を動かしたり、ポーズをとったりすることを 音楽に表す
楽しむ。
- ⑨ お話の中で、登場人物の強くなりたい気持ち、大きくなった嬉しさ 文芸に表す
や様々なことをやってみようという気持ち、難しいけれど頑張っ
た、頑張っでできるようになった、強くなった自信を感じる。
- ⑩ 登場人物になってごっこ遊びを楽しんだり、登場人物の気持ちや動 身体の動きに表す
き、場面を思い浮かべて表現することを楽しんだりする。
- ~~5 友達や先生がしていることを見たり、聞いたり、一緒に遊んだりし 他者のことを知る
ながら、何を楽しんでいるか、何が好きかなどを感じたり知ったり
する。~~

4. 展開



A【生き物にふれる】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・登場する生き物を見る ・科学絵本や図鑑を見る ・登場する生き物の世話をする	○登場する生き物の動きや姿、成長を面白いと思う⑦	*登場する生き物について知ることを楽しめる親しみを感じられるように、科学絵本や写真、図鑑を見やすい場所や手に取りやすい場所に用意しておく。 *捕まえた虫や飼育する生き物をじっと見たり飼ったりすることが出来るして親しみを感じられるように、カップや虫かごをすぐに取り出せるうめ組のテラスに連れてきたり、タライで世話したり、ネット型の虫かごに入れたりする場所に用意しておく。 *世話をする虫たちに落ち葉をやることを楽しめるように、園庭に落ち葉を集めて置いておく。 ◎捕まえた生き物に餌をあげたり世話をしたりできるように、食べ物や世話の仕方を一緒に調

		べでたり一緒に用意したりあげたりする。 ◎動きや習性、姿をの面白さを感じられると思えるように、虫を探することに誘ったり、一緒に探したり、教師も一緒に見て驚いたり、子どもの気付きに共感したり、一緒に世話をしながら動きや成長などを言葉にしたり保育室に掲示したりして知らせたりする。
--	--	--

DB【絵本・紙芝居を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・先生に絵本や紙芝居を読んでもらう	○他のクラスの先生や友達と一緒に絵本や紙芝居を見ることを楽しむに嬉しさを感じる。 ④ ○生き物の生活や生態について知り、親しみをもつ。⑦ ○お話の中で、登場人物の気持ちを感じる⑨ ○お話の中で、大きくなった、強くなったことへの自信を感じる⑩	*読んでもらった絵本を自分で見たい子どもがいつでも見られるように、読んだ後は絵本棚の目立つところに置いておく。 *学年で一緒に過ごす活動する嬉しさを感じられるように、学年で一緒に絵本や紙芝居を読む機会をもつ。 ◎実際に見たり、世話をしたり、ごっこ遊びをしたりした生き物に親しみを感じられるように、その生き物が登場する絵本を読む。 ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている場面は、その気持ちを感じるために理解しておかなければならない言葉をゆっくりはっきり読んだり、心情を表す言葉は心情に合った声色や声の調子で読んだりする。 ◎大きくなったことへの自信を感じられるように、心も体も強くなれたことや、大きくなったことを言葉にして話したりする。 *お話の世界を楽しめるように遊んできたストーリーの紙芝居を作って読んだり、ホームページに載せたりする。 *お家の人と一緒に絵本の世界を楽しめるように、絵本の貸し出しをしたり子どもたちと見た絵本や紙芝居をホームペ

		ージに載せて紹介したり、あ らすじを伝えたりする。
--	--	------------------------------

BC【身体をいろいろに動かす】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・走る ・止まる ・両足でジャンプする ・横に転がる ・這う ・ギャロップをする ・起き上がる ・身体を丸める ・高い所から跳び下りる ・バランスをとって渡る ・高いところをタッチする ・ジャンピングで跳ねる ・トンネルで揺れる ・前を見て走ったり跳んだり、よけたり、手をついたりする	○友達や他のクラスの先生や友達たちと一緒に遊んだり、おやつレストランでおやつを食べたりすることを楽しむ④ ○遠くまで跳び下りたい、高く跳びたいという気持ちになってしようとする① ○バランスストーンを落ちずに渡りたいという気持ちになってしようとする① ○ボールを投げ入れたいという気持ちになってしようとする①	*全員でしてもぶつからずに思いきり走ったり跳んだりできるように広い芝生や遊戯室、また転んでも大きなケガにつながらないように、保育室の芝生や大芝生で行う。 ◎他のクラスの先生や友達を身近に感じられるように、学年一緒に活動したりおやつを食べたりする機会を増やす。 ◎遠くまで跳び下りたいと思えるように、教師が遠くまで跳び下りて喜ぶ姿を見せたり、どこまで跳び下りることができるか期待する姿を見せたり、遠くまで跳び下りられたことを一緒に喜んだりする。 *自分でどの高さまで跳びたいか決められるように、あと少しで届きそうなくらいの、長さの違う紐にぶら下げたボールを用意する。どれくらいの高さにするのか尋ね、それに合わせてダンバリンを持つ。 *あそこまで跳び下りたいと思えるように、色の違うフープを下りる場所の目印として並べて置いておく。 ◎やってみようと思えるように、教師が落ちそうになりながらも渡れて喜ぶ姿を見せたり、落ちずに渡る友達の存在を知らせたり、簡単すぎず難しすぎない距離にバランスストーンを配置したり、難しさで分けたコースを作ってみたことを知らせたり、教師がやって見せたりする。 ◎投げ入れようと思えるように、カゴに鈴をつけておいたり、教師が投げ入れようと挑戦する姿を見せたり、もう少しで入りそうだと励ました

○したいことができたり、先生に見てもらったりする嬉しさを感じる②

○友達と一緒に同じ動きをして、一緒に遊ぶことに楽しさを感じる④

○走ったり、止まったり、両足でジャンプしたり、横に転がったり、這ったり、ギャロップしたり、体を丸めたり、高い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高いところをタッチしたり、ジャンピングで跳ねたり、トンネルで揺れたりなど、いろいろに体を動かす楽しさや心地よさを味わう⑥

~~○走るときに前を見て、友達や物をよけたりするとぶつからないことを感じたり、飛び降りるときに倒れないように、手を着いて着地したり飛び降りる先に誰もいないか見て跳んだりする⑥~~

○人がたくさんいる場所で走ったり、高いところから跳び降りたりするとぶつかってしま

り、ねらって入れることを伝えたりする。

◎したいことができたり、先生に見てもらったりする嬉しさを感じられるように、一緒にできたことを喜んだり、笑顔で見守ったりする。

◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、全員で同じ動きを同時にする場面を取り入れたり、みんなで一緒にする楽しさを言葉にしたりする。

*いろいろに身体を動かす楽しさや心地よさを感じられるように、ゲームボックスや平均台、バランスストーン、ボール入れ、ジャンピング、トンネル、吊り下げボールを出す。

*バランスをとって渡れるように、バランスストーンをつなげてみたり、足を少し広げて渡る距離に配置したりする。

◎いろいろに身体を動かす楽しさや心地よさを感じられるように、走る、止まる、両足でジャンプする、横転する、這う、ギャロップする、体を丸めたり、~~仰向けになって足をじたばたさせたり、高い所から跳び下りたり、~~バランスをとって渡ったり、高いところをタッチしたり、ジャンピングで跳ねたり、トンネルで揺れたり、~~転がったり~~などの動きを教師が率先してしたり、登場する生き物らしい動きが出ている場面を取り入れたり、している子どもの動きを言葉にして知らせたり、一緒にしながら楽しさを言葉にしたり笑ったりする。

◎危ないことを感じて、危なくないようにしようと思えるように、危ないと感じているタ

	うことを教えてもらって、周りを見たり、間隔を開けたり、順番を待ったりして危なくないようにしようとする。⑤	イミングで原因を言葉にしたり、危なくなりそうなことを知らせたりする。
--	--	------------------------------------

GD【いろいろな生き物になって遊ぶ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ なりたい登場人物になって動く ・ 知っている生き物になって動く	○ なりたいものを思っとなろうとする① ○ なりたいものになったり、先生に見てもらったりすることを嬉しいと思ったり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする②	◎ なりたいものを思っとなろうとすることができるように、登場するものを<u>近くに連れてきて見せたり、について</u>写真や絵を見せたり、子どもが知っていることを学年やクラス全体に知らせたり、状況を詳しく話したり、教師が楽しそうにやって見せたりする。 ◎ なりたいものになれたり、先生に見てもらったりすることを嬉しいと思えるように、子ども一人ひとりが楽しんでいく動きを具体的にほめたり、教師の感動を伝えたりする。 ◎ 考えたことや頑張っていることに自信をもってできるように、それぞれの子どもの考えたこと、頑張っていることを具体的に褒める。
・ 友達と一緒に動いたり、近くで見たりする	○ 友達と身を寄せたり、同じ生き物になって動いたり、一緒に同じ動きをしたりして一緒に遊ぶことに楽しさを感じたりする④	◎ 友達と一緒に遊びながら楽しさを感じられるように、同じ生き物になって動いたり応援したりする機会や同じ動きをする機会を作ったり、一緒にしている楽しさを言葉にしたりする。
・ なりきっている友達や先生を見て、どんな生き物になっているのかを知る	○ 友達がなりきっている登場人物を見て、どんな虫生き物になっているのかや楽しんでいるのかを考えたり、知ったりする⑥	◎ 友達の楽しんでいることに興味を向けられるよう、近くで見ながら、友達がどんな登場人物になっているのかを一緒に考えたり、伝えたりする。
・ 前を向いたり避けたりして動く	○ 登場人物になりきって動くときに、前を見たり、よけようとしたりするとぶつからないのだと感ずる⑥周りを見たり、間隔を開けたりして危なくないようにしようとする。⑤	◎ 周りを見たり、間隔を開けたりすると危なくない前を見て走るとぶつかりにくいことを感じられるよう、前周りを見ることや、広い場所を見付けよけたりするとぶつからないことを遊びながら伝える。
・ なりたい登場人物になりきって動いたり気持ちを表現したりする	○ 実際に登場するものを見たり触れたりして、親しみをもって動きに取り入れようとする⑦	* 登場するものに親しめるように、近くで様々な虫生き物を見たり、触ったり、飼ったりする機会をもつ。

	○お話の中で、登場する生き物の気持ちを感じる⑨ ○お話の中で、大きくなった、強くなったことへの自信を感じる③ ○なりたいものになって、ごっこ遊びを楽しむ⑩ ○登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しむ⑩	◎登場人物の気持ちを感じられるように、気持ちを感じられる場面で遊びながら、その時々の子どもの気持ちを言葉にしたり、気持ちに共感したりする。 ◎大きくなったことや強くなったことへの自信を感じられるように、心も体も強くなったことや、大きくなったことを言葉にして話したりする。 *いろいろな生き物の動きを思う存分できるように、広い芝生や遊戯室で行う。 ◎なりたいものになってごっこ遊びをすることを楽しめるように、教師と一緒にモデリングしたり、子どもが言っていることやしていることに驚いたり受け止めたりしながら一緒にしたり、その動物や虫の特徴を感じて、なっている子どもの動きを具体的に褒めたり、みんなに見せたりする。 ◎登場物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しめるように、状況を分かりやすく伝えたり、子どもが思い描いている状況を聞き出したり、状況に合わせて明るい音楽や暗い音をピアノで弾いたり、気持ちをナレーションで伝えたり、登場人物の気持ちを感じて、表現している子どもを具体的に褒めたりする。
--	---	---

E【曲のリズムを感じて踊る】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・音楽にのって、体を動かしたり、ポーズをとったりする	○踊りたいという気持ちになって踊 り をしようとする①	◎踊りたいと思えるように、教師と一緒に楽しそうにしてみせたり、リズムを感じて自由に踊る機会をもったり、子どものいいところを褒めたり、友達がしているところを 見られよう に注目させたりする。

	○こんなポーズをとりたいと思ってしようとする① ○リズムを感じながら、体を動かすことや、ポーズをとることを楽しむ⑧ ○友達のしているポーズや動きを知る<他者のことを知る>	◎こんなポーズがとりたいと思ってしようとしてできるように、曲の最後に子どもたちが自由にポーズを考えるところを作っておき、色んなポーズをしている面白さを伝える。 *思い切り踊ることを楽しめるように、広い芝生や遊戯室などで行う。 ◎リズムを感じながら踊れるように、手拍子をしたり、歌って盛り上げたりする。 ◎子どもたち、リズムを感じながらいろいろな動きできるように踊りやすいテンポの曲を選ぶ。 ◎友達のポーズや動きに興味をもち、どんなことをしているのか知るきっかけになる友達のポーズや動きの素敵さや面白さを感じられるように、友達とポーズや動きを見合ったりするう機会を設ける。
--	--	---

F【おうちのひとに見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・見てもらうことを楽しみにしたり、褒めてもらって喜んだりする	○おうちの人に見てもらうことを楽しみにする ○楽しんでいることや頑張ってきたことを、おうちの人に見てもらえてよかったと思う②	◎見てもらうことを楽しみにできるように、運動会の日はおうちの人が見に来てくれることを知らせ、どこを見て欲しいか尋ねる。 ◎見てもらえてよかったと思えるように、見てもらってどんな気持ちかを言い合ったり、「よかったね」と話したりする。 ◎おうちの人に見てもらえて嬉しいと思えるように、保護者に子どもが楽しんでいたことや頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。